

Press Release

報道関係者 各位

11月22日は「いい夫婦の日」！2016年度「いい夫婦の日」キャンペーン
「いい夫婦の日記念ウオーク 2016」を開催
11月20日(日)豊洲公園よりスタート

「いい夫婦の日」をすすめる会は、11月22日の「いい夫婦の日」を前に、「いい夫婦の日記念ウオーク 2016」を11月20日(日)に開催いたします。

「いい夫婦の日記念ウオーク 2016」は、ご夫婦やカップルをはじめ、お一人でもご参加いただけるウォーキングイベントです。

東京の食文化を約80年もの間支えてきた築地市場に感謝の意を表して、今年は豊洲公園をスタートした後、豊洲新市場、晴海大橋、勝鬃橋、築地場外市場、築地本願寺、月島西仲通り商店街を経て豊洲公園に戻る約12kmのコースです。

東京の食文化を支える新旧の市場を眺め、ご夫婦での食事の思い出話や、その日の夕ごはんの相談などをしながらウォーキングを楽しんでいただきたいと思います。

去年は、ご夫婦・カップル、および、そのご家族など600名以上にご参加いただきました。

「いい夫婦の日」は、いい(11)ふうふ(22)の語呂合わせと、1985年に労働省(現・厚生労働省)が制定したゆとり創造月間の期間中であったことから、1988年に財団法人余暇開発センター(現・公益財団法人日本生産性本部)が夫婦で余暇を楽しむライフスタイルを提唱し、制定されました。

「いい夫婦の日」のテーマは『「いい夫婦の日」は、“ふたりの時間”を大切にする日です。』と『「いい夫婦の日」は、“ありがとう”を贈る日です。』。

「いい夫婦の日」を前に開催する本ウォーキングイベントが、普段忙しくてふたりの時間をあまり持てないご夫婦や、「ありがとう」や「愛してる」といった言葉をなかなか伝えられないご夫婦などが、お互いの気持ちを伝えあう機会になればと考えています。

そして、少しでも多くのご夫婦・カップルに本ウォーキングイベントにご参加いただければと思います。



<2015年の様子>

「いい夫婦の日記念ウオーク 2016」概要

- 開催日 : 2016年11月20日(日) ※雨天決行、荒天中止
- 集合場所: 豊洲公園
- 時間 : (受付時間)午前9時~9時30分 ※当日受付になります。
(スタート)午前9時30分予定
(ゴール受付)午前11時~午後1時30分 ※完歩された方には、完歩証を交付
- 参加費 : 一般500円/東京都ウオーキング協会会員100円/
他のウオーキング協会会員300円/小学生以下無料
- 参加資格: 居住地、国籍、年齢、性別など一切問わず、健康な人ならどなたでも参加できます。
但し、小学生以下の方は、保護者の同伴が必要です。また、車いすの利用の方は、介添者の同伴が必要です。
- 持ち物 : 飲み物、雨具、帽子、健康保険証(写し可)、参加費
- 受付時にお渡しするもの: 番号券、コースマップ
※受付時にお渡しする番号券が賞品の抽選番号となっていますので、終了後までお持ちください。
- 賞品一覧: 参加者の中から抽選で下記をプレゼントします。

アサヒビール アサヒスーパードライ缶 350ml	48名
味の素ゼネラルフーズ <煎>レギュラー・コーヒー 香醇濃味 160g、 <煎>上乘せドリップ 香醇濃味 1箱	12名
象印マホービン ステンレスマグ TUFFSM-SC48(ペア)	3組
トリンプ・インターナショナル・ジャパン マジ軽ホット 生姜インナー 7分袖トップ (女性用 M サイズ)	5名
ナルミ ペアモーニングセット	5組
白鶴酒造 白鶴淡雪スパークリング 300ml	30名
日本手袋工業組合 ウオーキング手袋(M サイズ・男女ペア)	10組
レナウン element of SIMPLE LIFE マフラー(男女ペア)	1組
ミズノ 腰部骨盤ベルト	2名

※数字の後に「組」と書いてある賞品は、夫婦またはカップル対象です。
※アルコールは満20歳以上の方に限定させていただきます。未成年の方は対象になりません。
- コース・通過ポイント: 豊洲公園⇒東雲橋⇒東京臨海広域防災公園⇒シンボルプロムナード公園⇒富士見橋⇒
豊洲新市場⇒晴海大橋⇒波除神社⇒築地場外市場⇒築地本願寺⇒月島西仲通り商店街⇒春海橋⇒豊洲公園 (約12km)
- 主催: NPO 法人東京都ウオーキング協会
- 共催: 「いい夫婦の日」をすすめる会
- 協力: アサヒビール株式会社 味の素ゼネラルフーズ株式会社 象印マホービン株式会社
トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社 鳴海製陶株式会社 白鶴酒造株式会社
ミズノ株式会社 株式会社レナウン 日本手袋工業組合

<参考>

「いい夫婦の日」をすすめる会(URL: <http://www.fufu1122.com>)とは

1985年に政府が「ゆとりの創造月間」を11月に制定。

1988年には、財団法人余暇開発センター(現:公益財団法人日本生産性本部)が夫婦で余暇を楽しむライフスタイルを提唱しました。それをきっかけに新しく制定されたのが「いい夫婦の日」です。日付は、「いい夫婦」との語呂合わせで11月22日に決定したといわれています。

同センターによる普及のためのキャンペーンは1988年より実施。その後、一般社団法人日本ボディファッション協会の塚本能交代表が「いい夫婦の日」の趣旨に賛同され、ファッション・アパレル関連業界による「いい夫婦の日」をすすめる会(7団体・2,200社)が発足しました。

1998年には新キャンペーンがスタート。「いい夫婦の日」は夫婦を単位とした新しいライフスタイルの提案とモラルの啓発活動と併せて、新しいマーケット・モチベーションの創出を目的として広がっています。

現在は、構成団体・協賛企業・協力企業が同じプログラムのもとに共同の販促プロモーション活動を行い、産業界にとってのビジネス拡大にも寄与しています。